

平成 26 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 日本ライフライン株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介  
 (コード番号 7575)  
 問合せ先 専務取締役管理本部長  
 政次浩二  
 (TEL. 03-6711-5200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 2 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,265	161	182	7	0.71
今回修正予想(B)	12,263	669	733	286	26.48
増減額(B-A)	2	508	551	278	
増減率(%)	0.0	315.7	302.8	3637.3	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	11,921	763	821	297	27.56

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,539	1,076	1,081	491	45.52
今回修正予想(B)	25,749	1,751	1,800	903	83.68
増減額(B-A)	209	674	718	412	
増減率(%)	0.8	62.7	66.4	83.8	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	24,371	1,219	1,336	202	18.79

平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

	売上高		経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,508		百万円 350	百万円 183	円 銭 17.02
今回修正予想(B)	11,605		853	459	42.55
増減額(B-A)	96		503	275	
増減率(%)	0.8		143.8	150.0	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	11,292		1,048	496	45.95

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高		経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,827		百万円 1,288	百万円 723	円 銭 66.96
今回修正予想(B)	24,196		1,917	1,132	104.87
増減額(B-A)	368		629	409	
増減率(%)	1.5		48.9	56.6	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	22,812		1,865	373	34.61

修正の理由

第 2 四半期（累計）

上期におきましては心腔内除細動システムの市場への浸透が進んでいるほか、本年 7 月に発売したオンリーワン製品である「J-Graft（ジェイ・グラフト）オープンステントグラフト」の販売数量が伸長していることなどから、自社グループ製品の売上構成比が増加し、売上総利益が計画を上回る見通しとなりました。

また、販売費及び一般管理費におきましては、一部の商品について導入計画の変更を行ったことにより、上期に予定していた薬事関連費用の一部の支出が見込まれなくなったこと等から、営業利益以降の各利益段階において、計画を上回る見通しとなりました。

通期

下期におきましては、上期に引き続き自社グループ製品を中心として売上の伸長を見込んでおります。また、販売費及び一般管理費におきましては、上記の商品導入計画の変更に伴い、下期に予定しておりました薬事関連の費用の一部の支出が見込まれなくなったものの、上期に未執行であった経費予算のうち、広告宣伝費や製品開発に関わる費用等の発生を見込んでおります。以上により通期におきましても、営業利益以降の各利益段階において、計画を上回る見通しとなりました。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により業績予想と異なる可能性があります。

以 上